

「働く仲間の安全と健康を最優先に」

コラム

三澤社長からのメッセージ

当社は、役職員の皆さんが、心身ともに健康でいきいきと働くことのできる環境の構築を目指し、「健康経営」に取り組んでいます。このため、皆さんには、ぜひ「安全」と「健康」を大切にさせていただきたく、本号より「健康経営コラム」の連載を開始します！初回は、**三澤社長からのメッセージ**をお送りします。



私は、社長に就任以来、常々「働く仲間の安全と健康を最優先に」と申し上げてきました。仕事を進めていく上で、『安全』と『健康』は何にも増して優先されるものであります。

当社は、安全衛生に関するさまざまな取り組みを通じて、役職員の皆さんの心と身体の健康づくりを積極的に推進していますが、会社が考える安全と健康の大切さについて、改めて皆さんにお伝えしたいと思います。

安全と健康は、ともに損なわれたときに初めてその有難さを痛感しますが、何もせずに維持できるものではありません。日ごろからの心掛け、努力が大切です。

安全については、当社はデスクワークが中心のため、危険に遭遇する機会が少ないように感じる人も多いと思います。しかし、扉の反対側や、ほんの少しの段差など、屋内であっても、身近なところに危険が潜んでいる可能性があります。重大事故の背後にはいわゆる『ヒヤリハット』が隠れていると言われています。

皆さんにおかれては、重大事故を招くことのないよう、思わず肝を冷やするような出来事に遭遇したら、必ず職場で声を挙げ、『ヒヤリハット』の経験を共有してもらいたいと思います。

その一言が職場の仲間を大きな事故から救うことになりますので、ぜひとも心掛けてください。

次に、健康については、当社はいわゆる「座りっぱなし」の職場なので、肉体的には負荷が少ないかもしれませんが、座っている時間の長さによって疾患リスクが上がるのが指摘されています。

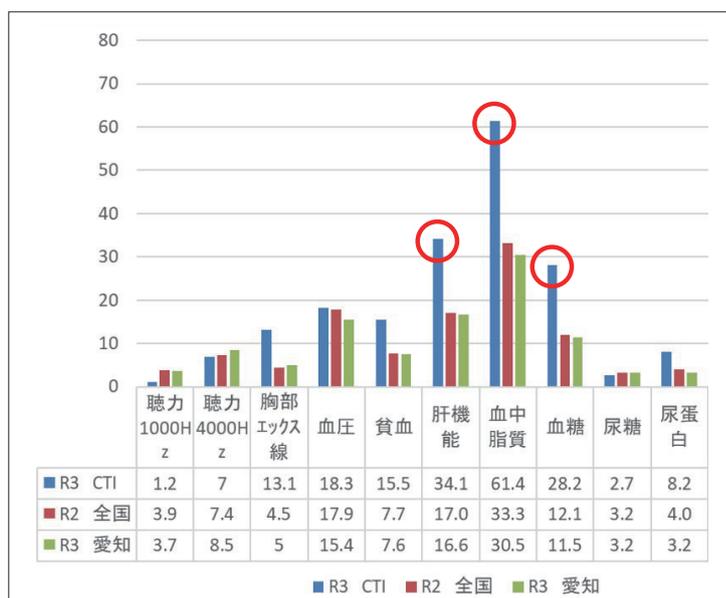
保健師による健診結果の分析からも、当社の検診の有所見率は愛知県や国の平均比較で大きく見劣りする結果（肝機能、血中脂質、血糖）が長期にわたっております。若い世代（39歳以下）であっても健康指導の対象者が少なからず存在する状況は、企業活力の維持向上を図っていく上でも、気がかりなところです。

皆さんの健康バロメーターは会社の健全バロメーターであることから、会社は皆さんの健康を様々な形でサポートしてまいります。

検診結果に基づく保健指導、フィジカル・メンタルヘルス研修、ウォーキングラリーの実施、健康サポートアプリ・禁煙プログラムの導入の他にも、今後もさまざまな健康促進策を講じていきたいと考えています。

私たちは1年経てば1歳年を重ねることを止めることはできません。しかし、安全に対する意識を持続し、地道に健康増進活動を継続すれば、いくつになっても安全で健康な人生を送ることができます。

皆さんにおかれては、ぜひとも10年先、20年先の安全と健康を手にしていただきたいと思います。



【参考】当社の検診結果（愛知県と全国との比較（2021年度））
当社の有所見率の高さ（肝機能、血中脂質、血糖）は突出しています。